

佐倉市立佐倉中学校



【校長先生から一言】

佐倉中は昭和22年4月、学校教育法に基づく中学校として創立。現歴史民俗博物館の場所にあった、旧軍隊の兵舎を校舎として開校しました。

現在地へは、新校舎が完成した昭和32年に移転してきました。その校舎も今は老朽化し、全面改築工事に伴い、平成18年8月に第3棟校舎を解体。仮設校舎で不便な面もありますが、恵まれた自然・歴史的環境の中で、「佐倉を学び、佐倉を知り」世界へ大きく飛び立つ生徒を育てたいと考えております。

【今年度の教育目標】

「校訓『好学進取』のもと、自ら学び、自ら考える力をそなえた、心豊かなたくましい生徒の育成。」

- 〈基本方針〉
- 1 確かな学力を身につけるために、学ぶ意欲を育て、わかる授業を行う
 - 2 基礎・基本の定着と、個に応じた指導の充実を図る
 - 3 開かれた学校づくりを進め、家庭や地域社会との連携を図る
- 〈生徒目標〉 「笑顔であいさつ・清掃を一生懸命・歌声を全校に響かせる」

佐倉市立志津中学校



【校長先生から一言】

志津中学校は、今年、創立60周年を迎えます。伝統があり、保護者や地域の皆さんから「私たちの学校」として親しまれています。

生徒は、とても活力があり、学習や諸活動に毎日精一杯取り組んでいます。特に、「行事に燃える志津中生」の伝統を引き継ぎ、体育祭や合唱祭は素晴らしいです。また、地域と共に取り組む福祉・ボランティア活動も盛んで、思いやりや奉仕の心も育っています。

【今年度の教育目標】

進んで学び、心豊かなたくましい生徒の育成

- 〈進んで学ぶ生徒〉 ○授業に真剣に取り組み、自ら学ぶ生徒 (勤勉)
○自分の進路に向けて努力し続ける生徒 (進路)
- 〈心豊かな生徒〉 ○礼儀正しく、自他共に大切にする生徒 (礼儀・思いやり)
○よく働き、人に尽くす生徒 (勤労・奉仕)
- 〈たくましい生徒〉 ○きまりやマナーを守り、節度ある行動ができる生徒 (強い意志)
○健康・体力づくりに励む生徒 (健康・体力)

佐倉市立上志津中学校



【校長先生から一言】

本校は、下志津、上志津原などの古村と、生徒数の多くを抱える開発地域の中志津を学区に抱え、自治会等の組織が充実している。地域の方の学校教育に対する期待や関心も高く、大変協力的である。今年は創立35周年を迎えるが近年生徒数が減少しており、地域社会の変化に対応した学校の将来のあり方について考える時期にある。このため現在「地域と密着した学習」の一環として、行事の中に地域の諸団体との交流活動を積極的に取り入れている。

【今年度の教育目標】

『新しい時代にたくましく、生きる力の育成』

子ども達一人ひとりの将来における自己実現の礎をつくる中学校教育の場においては、生きていく上で何が大切かをしっかりと自覚させ、周囲の人々との関わりの中で自分を見つめ、確かな学力と豊かな心を持ってたくましく生きていこうとする態度の育成が必要である。そこで上記の教育目標のもと、たくましく生きる力を持った生徒の育成を目指す。

佐倉市立南部中学校



【校長先生から一言】

本校は佐倉市の南部に位置し、学区は市全体の面積の4割以上を占める自然豊かな地域です。昭和35年9月に根郷中学校を母体とする旧南部中学校と和田、弥富中学校が統合され、新生南部中学校として発足し、今年で48年目を迎える伝統ある学校です。今年度は、伝統である「明るい挨拶・大きな返事・さわやかな歌声」を大切にして、家庭や地域との連携のもと明るく秩序ある学校を目指します。

【今年度の教育目標】

『勉学に精励し、心身共に自らを鍛える生徒の育成』

《めざす学校像》

明るく秩序のある学校・保護者や地域社会から信頼される学校

《めざす生徒像》

- | | |
|----------------------|--------------------|
| ①進んで学習に励み、学力向上をめざす生徒 | ②気力と体力を高める生徒 |
| ③正しい判断力と豊かな心を持つ生徒 | ④校内美化に力を入れる生徒 |
| ⑤自治的活動に積極的に取り組む生徒 | ⑥地域の諸活動に積極的に参加する生徒 |

佐倉市立臼井中学校



【校長先生から一言】

生徒には、夢を持たせたい。夢があれば、実現の為に目的が明確になる。そして、目標が定まり、日々の行動が強い意思を持ったものになる。一步一步の努力が、夢の実現の為のものであることを理解するだろう。体を鍛え、勉学に勤み、友と触れ合い人を思いやる心を育てる日々の生活の積み重ねが未来の自分を作ると、知るであろう。夢を持ち、夢の実現の為に努力し続ける生徒を育てる学校経営をしたい。

【今年度の教育目標】

『知・徳・体の調和のとれた、自己を生涯にわたって教育しつづける意思や能力を持った心豊かで、たくましく生きる力を身につけた生徒を育成する。』

- (1) うつくしい学校づくりをめざし、思いやりに満ちた生徒を育てる。
- (2) すすんで学習し、学ぶ喜びを身につけた生徒を育てる。
- (3) いつも主体的に考えて行動するとともに、良さを生かす生徒を育てる。
- (4) 仲間と協力し、助け合える社会性豊かな生徒を育てる。

佐倉市立井野中学校



【校長先生から一言】

広大な敷地と静かな環境に恵まれたわが中学校は、今年で開校26年目を迎えました。これまで「明るい挨拶」「大きな歌声」「きれいな校舎」「高い学力」の四つの伝統を代々の卒業生が受け継いできましたが、今年度からは「大きな歌声」が「響く歌声」に変わるとともに、「はつらつ健康」という五つ目の伝統を新たに加えて、生徒たちがこの1年間でより一層本校を発展させてくれることを期待しています。

【今年度の教育目標】

『自立・協働・貢献ができる生徒を育成する』

他と共に生きていることを実感する体験や、わかる・できる喜びの体験を通して、生徒の夢や希望を育むとともに、生徒と共に成長し続ける教師・学校でありたいと思います。

1. めざす生徒像 自他敬愛の心を持ち、共に努力向上しようとする生徒
2. めざす教師像 生徒の夢・志を育み、自己実現を支えられる教師
3. めざす学校像 地域の中に活きる学校

佐倉市立佐倉東中学校



【校長先生から一言】

昭和62年に開校した本校は、昨年度、20年の節目を超えました。学校教育目標のめざす学校像、①生徒にとって充実して楽しい学校②明るい挨拶のあふれる学校③思いやりの心を育む学校④歌声の響く学校⑤きれいな学校、を目指し、生徒たちが、学習活動に、行事に、部活動に、全力で取り組み、学校生活の充実を図れる、成人となった佐倉東中学校にふさわしい教育活動の展開に努めたいと思います。

- 【今年度の教育目標】・・・心豊かで、生きる力をそなえた生徒の育成をはかる
- | | |
|------------------------|-----------|
| (知)・自ら学び、自ら考え、創造性豊かな生徒 | (自主性・創造性) |
| ・正しく判断し、行動できる生徒 | (判断力) |
| (徳)・感謝の心を持ち、礼儀正しい生徒 | (礼儀) |
| ・自他を大切にし、お互いを尊重できる生徒 | (思いやり) |
| ・汗を流して働く生徒 | (勤労) |
| (体)・健康で自らを鍛えるたくましい生徒 | (健康・体力) |

佐倉市立臼井西中学校



【校長先生から一言】

豊かな自然に恵まれた本校は開校20年目を迎えました。子ども達は、心のこもった挨拶ができ、お互いの違いを認め合いとても仲良しです。また、自己の伸長を図るべく最大限努力している学校です。今年度の重点目標は「基礎学力の向上」です。基礎・基本を定着させ向上させるには、分かる授業の実践は勿論ですが基本的生活習慣の確立が不可欠です。家庭・地域と融合しながら達成したいと考えます。

【今年度の教育目標】

「礼節と規範を重んじ、自ら学び自主的・自律的に生きる、心豊かでたくましい生徒の育成を図る」を基本目標として掲げ、さらに具体的にめざす生徒像を

- ①「よく学習する生徒」 ②「礼儀正しい生徒」 ③「よく働く生徒」
④「心のやさしい生徒」 ⑤「よく運動する生徒」 とし、めざす学校像を
①「しっかりと学びが保障されている学校」 ②「いじめのない安心できる学校」
③「地域とともにあり信頼される学校」としています。

佐倉市立西志津中学校



【校長先生から一言】

西志津中は、今年度で創立20年目を迎えた学校です。本校の特色の一つは、入学式、卒業式などの校内行事の進行が、伝統的に生徒の手によって行われていることです。もう一つは、西志津小学校との連携を、児童・生徒間、職員間で様々な取り組みを通して行っていることです。例えばふれあいコンサート、ゴミゼロ運動、歌声交流、全職員による懇談会などが挙げられます。なお、今年度から両校とも「佐倉学」の研究モデル指定を受けています。

【今年度の教育目標】

『学ぶ喜びを知り、心身共に自らを鍛える生徒の育成』

《めざす生徒像》

- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| 1. 学力向上を目指す生徒 | 2. 心身の鍛錬に努める生徒 |
| 3. 正しい判断力と行動力のある生徒 | 4. 思いやりの心を持つ生徒 |
| 5. 美化活動に力を入れる生徒 | 6. 自主的に諸活動に取り組む生徒 |
| 7. 郷土を愛し、ボランティア活動に進んで参加する生徒 | |

佐倉市立臼井南中学校



【校長先生から一言】

本校は、比較的家庭環境に恵まれた生徒が多く、明るく素直です。また、保護者や地域住民の教育に対する関心は高く、学校に対する期待も大きいものがあります。そこで、二期制を実施しているメリットを生かし、授業時数の増加と指導内容の充実、教育相談活動と生徒会活動・部活動を充実させ、知・徳・体の調和の取れた学校づくりに努めます。また、保護者地域住民の学校運営への参画を目指します。

【今年度の教育目標】

『新しい時代を創造し、心豊かに、たくましく生きる生徒を育成する』

- 好 学 進 取：学ぶことの楽しさを知りよく考え、探求的な学習ができる生徒
- 自 主・自 律：自らを律し、ものごとの是非を的確に判断し、集団の一員として積極的に活動する生徒
- 健 康：健康や体力の向上に努め、明るく、礼儀正しく、常に前向きな態度と実践力を持った生徒
- 共生と社会貢献：思いやりがあり、奉仕に励み、自然を慈しみ、動植物や環境を大切にする生徒

佐倉市立根郷中学校



鈴木校長

【校長先生から一言】

根郷中は開校10年が過ぎ、これまでに『根郷中モデル』を確立してきました。それは、開校以来取り組んできた『福祉学習』に顕著に見られます。

『共生』をテーマに、調べ学習や体験活動、施設訪問や聾学校等との交流を深めながら、気づき、考え、行動する学習を進めています。また、生徒は誰とでも明るい挨拶を交わし行事にも一生懸命に取り組めます。さらに他の学校にはない屋根付きプールや隣接した南図書館を身近に学習に活用できる学習環境も自慢の一つです。

【今年度の教育目標】

『次代をひらき、心豊かに、たくましく生きる力を身につけた生徒の育成』

を目標に、次の5点を重点として取り組んでいきます。①「生徒が主役」の学校づくりを推進します。②生徒一人ひとりが生かされ、所属感を持って生活できるよう学年・学級経営の充実を図っていきます。③基礎基本の徹底と自ら学ぶ主体的な学習方法を身につけさせる指導方法の改善を図っていきます。④福祉教育を中核とした進路指導の推進に努めます。⑤「保護者・地域とともに歩む学校」をさらに推進してまいります。